



シンポジウム開催案内

被害者の声を聴こう

～よりよい支援のために～

日時:2019年12月14日(土)13:30～17:00
(13:00～ 開場)

会場:上智大学6号館101教室 事前申込優先 参加費:無料

犯罪被害者に対する支援は、2004年の犯罪被害者等基本法制定によって大幅に進展してきました。しかし、被害者の抱えるさまざまな生活困難への対応はまだ不十分です。被害者の多岐にわたるニーズに応えるにはどのような支援体制を構築していくべきか—多くの皆様にご参加いただき、今後の被害者支援の展望を見出す機会にしたいと思います。

【主催団体】 被害者が創る条例研究会 / 科学研究費助成事業による研究チーム

【プログラム】

1. 主催者挨拶

2. 「被害者の声を聴く」

小林 賢二氏 (柴又上智大生殺人放火事件) * 事件から23年経ってなお未解決
寺輪 悟氏 (三重朝日町女子中学生殺人事件) * 少年事件固有の問題を経験
松本 里奈氏 (広島トレーラー鉄板落下死亡事件) * 刑事裁判への参加が回復を…
インタビュアー:大岡 由佳 武庫川女子大学准教授

3. パネルディスカッション 「被害者のニーズに対応した包括的な支援体制を考える」

コーディネーター:大塚 淳子 帝京平成大学教授

パネリスト:木本 克己 横浜市犯罪被害者相談室 専任職員

仲 律子 みえ犯罪被害者総合支援センター 副理事長

伊東 秀彦 千葉県弁護士会 犯罪被害に関する委員会 委員長

加藤 雅江 杏林大学医学部付属病院 ソーシャルワーカー

渡邊 保 殺人事件遺族・被害者が創る条例研究会世話人

4. 総括

諸澤 英道 元常磐大学学長

伊藤 富士江 上智大学教授

5. 閉会挨拶

後援団体

法務省・警視庁・東京都(依頼中)・日本弁護士連合会・日本被害者学会

日本精神保健福祉士協会・全国被害者支援ネットワーク・犯罪被害者団体ネットワーク(ハートバンド)

主催団体の紹介

◆被害者が創る条例研究会

2014年に組織し、全国どこの地域でも犯罪被害者が利用できる支援の充実を図ることを目指し、各自治体における条例策定を働きかけ活動している団体。犯罪被害者、研究者、自治体関係者などから成る。

◆科学研究費助成事業による研究チーム

『平成28年度～31年度科学研究費助成事業 基盤研究（C）犯罪被害者支援におけるケアマネジメント・モデルの構築と検証』（16K04185）

伊藤富士江（上智大学 研究代表者） 大岡由佳（武庫川女子大学） 大塚淳子（帝京平成大学）

会場のご案内

上智大学（〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1）は、JR/地下鉄丸ノ内線 四ツ谷駅から徒歩5分ほどです。上智大学の正門を入り、まっすぐ進むと、左手の建物が会場となる6号館（ソフィアタワー）です。



申込方法：できるだけ事前にお申し込みください。

お申し込みは、下記QRコードからお申し込みください。QRコード使用不可の方は、下記メールアドレスにお名前、ご所属、連絡先（メールアドレス等）を11月30日までにお知らせください。メール申し込みの場合は、件名を「シンポジウム申込」とお書きください。



（連絡先）被害者が創る条例研究会 事務局 メール：jourei2014@yahoo.co.jp

科研費
KAKENHI



【本プログラムは、2019年度預保納付金支援事業の助成を受け実施しています】

